

① 県防災ヘリコプターによる上空探査

- 県防災ヘリによる上空探査で確認された被害木
- 被害箇所はデジタル航空写真でも確認

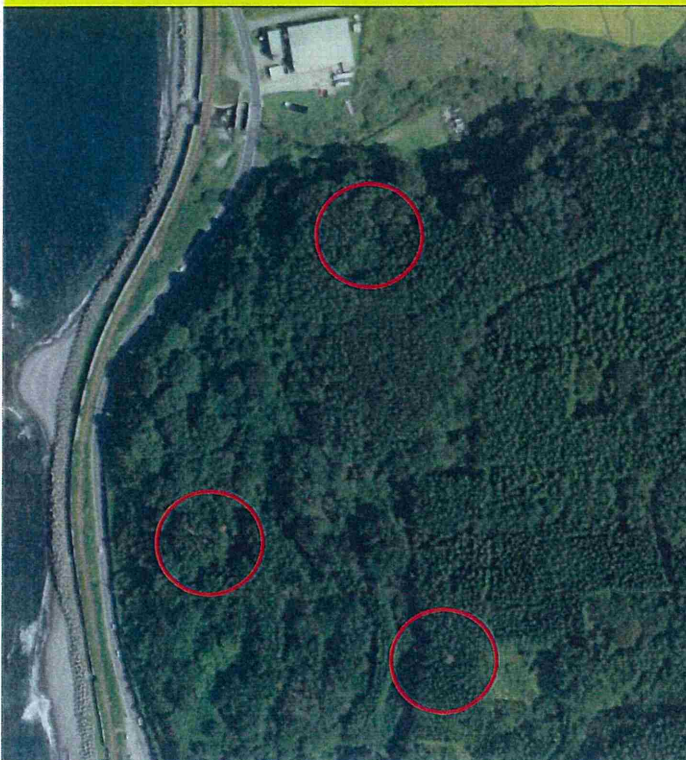


② セスナ機によるデジタル航空写真撮

- デジタル航空写真撮影することで、より詳細に異常木を調査可能

空中写真: ナチュラルカラー

空中写真: フォルスカラー



③ ヤニ打ち調査

- 被害木周辺半径100m以内で、ヤニ打ち調査によりヤニの滲出状況を確認
- ヤニの滲出が少なかったマツからは材片を採取し、(地独)林業研究所へ簡易鑑定を依頼



①ヤニ打ち調査



②ポンチ穴開け(ヤニ少なめ)



③材片採取



④採取した材片(林業研究所へ鑑定依頼)

④ 被害木痕跡調査-1

- 被害木を伐倒し、根元から1m毎に玉切り、それぞれ後食痕や産卵痕を調査
- 皮を剥いだ後に、幼虫の有無や穿入痕などを調査

